

# 神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

## はしがき

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岡本, 崇男, Okamoto, Takao メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/1125">https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/1125</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## はしがき

本書は、2002年に神戸市外国語大学外国語研究56号として出版された『シモン・ブドニ『教理問答』(1562年) 第一部 テキストおよび解説』(以後、[第一部])の続編をなすもので、前編に収録できなかつた第二部、第三部、第四部の翻刻テキストが収められている。

本研究班は、2006年度に井上幸和(本学外国語学部教授)、リュドミラ・エルマコーヴァ(同)、岡本崇男(同、研究班代表)、清水俊行(本学外国語学准教授)、森田耕司(ポーランド共和国ヤギエヴォ大学日本語学科准教授)の6名で活動を開始したが、2007年度には影山悦子(本学非常勤講師)を加えて7名となった。

翻刻テキストだけでなく、班員の研究論文も掲載するという計画は、ページ数の制限のために、またもや断念せざるを得なかつた。前編に含まれていた序文と第一部のテキストは原文で111葉であったが、今回収録した第二部以降のテキストは合計で148葉ある。したがって、翻刻テキストの行数を[第一部]に比べて大幅に増加させ、かつ可読性も保障するという二つの条件を満たした結果、ほぼ翻刻テキストのみという構成になってしまった。

なお、本研究班の作業の過程で、ポーランド在住の森田耕司が提供した文献資料(特に、[Kamieniecki 2002])が重要な役割を果たしたことを認めておかなければならぬ。ブドニの『教理問答』(1562年)に関する「総合的な研究」を目指していたわれわれ研究班にとって、カメニエツキの研究の出現は新たな指針となった。また、本研究班が底本としたモスクワ大学学術図書館所蔵本の書誌が納められた[Pozdeeva et al.]を提供して下さった青木正博先生(京都産業大学教授)には、この場を借りて感謝の意を表したい。

研究班代表 岡本崇男